

マキノ病院ニュース

地域と共に

事務長 前川 甚士

マキノ病院は、おかげさまで程なく開設50年を迎えさせていただきます。地域の皆様にお支えいただきながら歩んできました。この半世紀の歴史の中で、私が知っているのは、ほんの30年余りのことですが、「地域の皆様の安心」を理念に掲げ、病院の体制もその時々的情勢・環境に応じて変遷してまいりました。

現在当院は、高島市北部の二次救急病院として、診療科目 内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、神経内科、泌尿器科、リウマチ科、肛門外科、放射線科、リハビリテーション科の11科（開設当初は内科、外科、放射線科の3科）を標榜し、外来診療、入院で

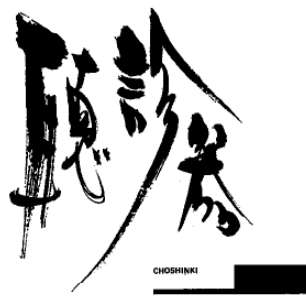
は急性期の役割を担う一般病床44床、リハビリを主として在宅復帰へ向けた準備を行う地域包括ケア病床16床、慢性期の長期療養に対応する医療療養型病床60床、計120床（開院当初は3床）の病床を有し、急性期⇄回復期⇄慢性期を幅広く、個々の患者様に向き合ったきめ細かなサービスを提供すべく注力いたしております。

また、訪問看護、訪問リハビリテーション、9月より土曜日枠を新たに設け、火・木・土曜日に実施しております通所リハビリテーション（デイケア）の他、滋賀県、高島市からの助成を受け開所いたしました、地域密着型小規模多機能型居宅介護事業所「はびねすマキノ」は、介護が必要となられたご高齢者が、住み慣れた家・地域で、安心して生活を送っていただけるよう、ご利用者の状態や必要に応じて、「通い」を中心に、「泊り」「訪問」の3つのサービスを組み合わせ、自宅での暮らしをお支えする在宅介護サービスを実施しております。開所から2年半が経ち、多くの皆様にご利用いただいております。こうして医療と介護の両面からサポートさせていただく中で、今後、医療・介護を取り巻く環境が大きく変化することが予想されます。近々のこととして、来年平成30年には、診療（医療）報酬と介護報酬の同時改定、介護保険法改正のトリプル改定が待ち受けています。皆様方にとって、

病院にとって、どのような影響があるのか、これからのいろいろと見えてくることは思いますが、いずれにしましても、患者様・ご利用者様に選んでいただける病院になるために、必要とされる病院であるように、地域の真のニーズを体感しながら努めてまいりたいと存じます。

私は、このマキノの地にマキノ病院と時を同じくして生まれ、育ちました。そして、人生の五分の三以上をマキノ病院とともに過ごさせていただいております。入職当時より、陰になり日向になりお世話いただいております。地域の皆様、関係各位のご厚情に心から感謝いたしますとともに、今後ともマキノ病院共々よろしくお願ひ申し上げます。

ドクターコーナー



突然死とは健康そうに見えた人が予期せず突然帰らぬ人になる事であり、医学的には「症状が出現してから24時間以内の予期しない内因死」と定義されています。我が国では年間約10万人の突然死があり、このうち約6万人が心臓の異常が原因となる心臓突然死です。実に1日約1600人の人が心臓突然死している計算になります。そして心臓突然死の大半は不整脈によっておこります。また突然死は運よくまぬがれたものの、不整脈によって急性脳梗塞を

発症して運動麻痺やしびれなどの感覚障害が残ったり、意識消失などを繰り返すことにより多くの人の健康寿命が失われています。この危険な不整脈が起こる前段階をみつけることが発症予防に重要であり、その有用な検査の一つとしてホルター心電図があります。今回はこの

間心電図記録法の発表者である「Holler 博士」の名前に由来しています。いくつかの不整脈と狭心症の種類によつては、労作と無関係に夜や早朝に多く見られます。そのため病院内で行う短時間の心電図検査や負荷心電図検査では診断がつかないことが多く、実生活の中で

悸や自覚症状があった場合には、所定の用紙に時間と症状を記入していただき、解析の際にその時間や症状と心電図との関係を対比します。この検査で、軽症から重篤に至るほぼすべての不整脈の診断がつかれます。同様に狭心症が出現したときも、心電図に異常が現れますので診断がつかれます。不整脈と診断がつかれたら、その予防が大切になってきます。当院でもこのホルター検査によって放置するのと死に至る可能性のある危険な不整脈（高度房室ブロックや頻脈発作など）がみつかり、当院循環器科および提携病院（高島市民病院、琵琶湖大橋病院、滋賀医科大学付属病院など）へ速やかに紹介しペースメーカー埋め込み、カテーテル治療、除細動器埋め込み手術などにより多くの患者さんの救命に役立ってきま

した。また血栓ができやすい発作性心房細動という不整脈などもこの検査で多くの患者さんで見つかっており、血流促進薬にて脳梗塞予防に対応しております。生活面のアドバイスとしては、過度な運動やストレス、睡眠不足などによって、危険な不整脈が現れる場合がありますので、生活習慣に十分注意してください。突然死や健康寿命が損なわれた場合、ご本人だけではなくご家族にも金銭面や精神面での大きな負担がかかります。健診で心電図上問題なかった場合でも胸痛、動悸などの症状がございましたらホルター心電図を一度は受けられることをお勧めします。

“突然死にご注意！” ホルター心電図のすすめ

内科 児玉 常憲

検査に関して簡単ですが説明させていただきます。

ホルター心電図は、小型軽量の装置を身につけて、病院外で日常生活の約24時間の心電図を記録して、これを解析して観察する検査です。なお、「ホルター」という名称はアメリカの物理学者で、24時

心電図を記録し続けるこの検査が欠かせません。

ホルター心電図の使い方ですが、胸に電極を取り付け、小型の機械を携帯して、心電図を記録します。入浴中も計測可能です。記録された心電図はコンピュータで解析し、診断をつけます。もし携帯中に動

診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科
リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —

平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00

滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099

ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>